

【コース ID : 55】 微分方程式

55.7 定数係数斉次微分方程式

55.7.1 定数係数斉次微分方程式

問題 001 (バリエーション No.60)

以下の設問において、 については、後に示す選択肢から適するものを選び、その番号をマークせよ。

ただし、 に①をマークした場合は、空欄 に対するすべての記号に①をマークせよ。

微分方程式

$$\frac{d^2y}{dx^2} + 5\frac{dy}{dx} - 50y = 0$$

の一般解は の形の方程式 (C_1, C_2 は任意定数) で表され、

$a =$, $b =$ である。

また、初期条件

$$x = 0 \text{ のとき, } y = 20, \frac{dy}{dx} = 10$$

が与えられるとき、任意定数 C_1, C_2 の値はそれぞれ

$C_1 =$, $C_2 =$ である。

の選択肢：

① $y = C_1 e^{ax} + C_2 e^{bx} \quad (a < b)$

② $y = (C_1 + C_2 x) e^{ax}$

③ $y = e^{ax} (C_1 \cos bx + C_2 \sin bx)$

特性方程式 $\lambda^2 + 5\lambda - 50 = 0$ を解くと $\lambda^2 + 5\lambda - 50 = (\lambda + 10)(\lambda - 5)$ より $\lambda = -10, 5$ である。異なる 2 つの実数解をもつので、この微分方程式の一般解は $y = C_1 e^{ax} + C_2 e^{bx}$ の形であり、 $a = -10, b = 5$ である。

$$y = C_1 e^{-10x} + C_2 e^{5x}$$

$$\frac{dy}{dx} = -10C_1 e^{-10x} + 5C_2 e^{5x}$$

であるから初期条件 $x = 0$ のとき、 $y = 20, \frac{dy}{dx} = 10$ を代入すると

$$\begin{cases} C_1 + C_2 = 20 \\ -10C_1 + 5C_2 = 10 \end{cases}$$

これを解けば $C_1 = 6, C_2 = 14$ となる。

【答】 24 通り

問題 002 (バリエーション No.70)

以下の設問において、 については、後に示す選択肢から適するものを選び、その番号をマークせよ。

ただし、 に①をマークした場合は、空欄 に対するすべての記号に①をマークせよ。

微分方程式

$$\frac{d^2y}{dx^2} - 2\frac{dy}{dx} + y = 0$$

の一般解は の形の方程式 (C_1, C_2 は任意定数) で表され、

$a =$, $b =$ である。

また、初期条件

$$x = 0 \text{ のとき, } y = 9, \frac{dy}{dx} = 3$$

が与えられるとき、任意定数 C_1, C_2 の値はそれぞれ

$C_1 =$, $C_2 =$ である。

の選択肢：

① $y = C_1 e^{ax} + C_2 e^{bx} \quad (a < b)$

② $y = (C_1 + C_2 x) e^{ax}$

③ $y = e^{ax} (C_1 \cos bx + C_2 \sin bx)$

特性方程式 $\lambda^2 - 2\lambda + 1 = 0$ を解くと $\lambda^2 - 2\lambda + 1 = (\lambda - 1)^2$ より $\lambda = 1$ である。重解をもつので、この微分方程式の一般解は $y = (C_1 + C_2 x) e^{ax}$ の形であり、 $a = 1$ である。

$$y = (C_1 + C_2 x) e^x$$

$$\frac{dy}{dx} = (C_1 + C_2(x+1)) e^x$$

であるから初期条件 $x = 0$ のとき、 $y = 9, \frac{dy}{dx} = 3$ を代入すると

$$\begin{cases} C_1 = 9 \\ C_1 + C_2 = 3 \end{cases}$$

これを解けば $C_1 = 9, C_2 = -6$ となる。

問題 004 (バリエーション No.70)

以下の設問において、 については、後に示す選択肢から適するものを選び、その番号をマークせよ。

ただし、 に①をマークした場合は、空欄 に対するすべての記号に①をマークせよ。

微分方程式

$$\frac{d^2y}{dx^2} - 10\frac{dy}{dx} + 125y = 0$$

の一般解は の形の方程式 (C_1, C_2 は任意定数) で表され、

$a =$, $b =$ である。

また、初期条件

$$x = 0 \text{ のとき, } y = 2, \frac{dy}{dx} = -10$$

が与えられるとき、任意定数 C_1, C_2 の値はそれぞれ

$C_1 =$, $C_2 =$ である。

の選択肢：

① $y = C_1 e^{ax} + C_2 e^{bx} \quad (a < b)$

② $y = (C_1 + C_2 x) e^{ax}$

③ $y = e^{ax}(C_1 \cos bx + C_2 \sin bx)$

特性方程式 $\lambda^2 - 10\lambda + 125 = 0$ を解くと 2 次方程式の解の公式から

$$\lambda = \frac{10 \pm \sqrt{10^2 - 4 \cdot 125}}{2} = 5 \pm 10i$$

異なる 2 つの複素数解をもつので、この微分方程式の一般解は $y = e^{ax}(C_1 \cos bx + C_2 \sin bx)$ の形であり、 $a = 5, b = 10$ である。

$$y = e^{5x}(C_1 \cos 10x + C_2 \sin 10x)$$

$$\frac{dy}{dx} = 5e^{5x}((C_1 + 2C_2) \cos 10x + (-2C_1 + C_2) \sin 10x)$$

であるから初期条件 $x = 0$ のとき、 $y = 2, \frac{dy}{dx} = -10$ を代入すると

$$\begin{cases} C_1 = 2 \\ 5(C_1 + 2C_2) = -10 \end{cases}$$

これを解けば $C_1 = 2, C_2 = -2$ となる。